

【新刊案内】

人文書 | 社会学 | 日本論

白馬社

〒612-8469 京都市伏見区中島河原田町 28-106
TEL 075-611-7855 FAX 075-603-6752
E-mail info@hakubasha.co.jp

スマホに召集令状が届く日

—ようこそ！戦争と独裁の未来へ—

秋嶋亮 著

8月1日刊行 四六判 定価 1,600 円+税

ISBN978-4-907872-41-0

「平和と人権の終わりを警告する戦慄の対話篇」が堂々完成!

軍事のグローバル化、憲法の改悪、徴兵制の復活、終わらぬ原発事故、深刻化する薬害、狂気の創薬国家構想、宗教者の政治支配、国民のデジタル監視、ナチス宣伝省化したマスコミ、翼賛体制化する国会、移民による日本人の駆逐、国民の家畜化、SNSの弾圧、自由言論の消滅、公債償還に向けた国民資産の収奪、等等、重層化する危機の中で、私たちは生き残るため、いかに抗うのか？
本書は高度な学際的知見によってその思考の道筋を照らす。

◎解説：木村朗鹿兒島大学名誉教授

(目次より) 恐怖の連続で体制を変化させる／言論を標的にする国家のテロリズム／人権も生存権も液状化した「党国体制」という日本のファシズム／「白人特権」がコロナワクチンを推進する／植民地の悲劇としての薬禍／「生政治」から「死政治」へのシフト／国民は躡けられた犬に例えられる／これを「人種偏見に基づく資本主義」と言う／巧妙に民主主義を装う独裁主義の国家／人間のクズが「権力の監視」を自称する／中国シンガポール方式の監視社会が到来する／世界の軍需企業が日本に集結する理由／擬制の神で国民を束ね戦場に送る／ガザ地区の人々よりも難民化する日本人／ド級の植民地暴力に気付いていない／私たちは「非平和」の真っ只中にある／先住民として駆逐される日本人／人間は家畜に対して行うことを人間に対して行う／全ての政党が国民を騙し裏切るという現実／「あり余る兵器と飢餓」の未来.....



- 取り次ぎ搬入予定 8月1日以降随時 返品可
- 注文扱い（返条付）で出荷します。委託配本はありません。
- 取引取次 トーハン・日販・地方小

注文受付 FAX 075(603)6752

メール info@hakubasha.co.jp

貴店名・帖合		<h2>スマホに召集令状が届く日</h2>		白馬社
		ISBN978-4-907872-41-0 定価：本体1,600円+税		
ご担当者	様	冊	秋嶋亮 著	